
1 学校教育目標

「きらきら かがやく児童の育成」

- 豊かに すこやかな子
- きたえ たくましい子
- 考え まなぶ子

2 学校経営の方針

「地域に根ざした 信頼される学校づくり」

- (1) 教職員の創意・工夫により、開かれた特色ある学校づくりに努める。
- (2) 児童理解を深め、一人一人のよさや可能性を生かし、確かな学力・豊かな心・すこやかな身体をはぐくむ。
- (3) 教職員としての資質の向上に努め、信頼される教育活動を推進する。
- (4) 家庭・地域との連携により、望ましい教育環境を整備する。

3 令和5年度の努力点

(1) 「生きる力」をはぐくむ適切な教育課程の編成と実施に努める。

- ①知・徳・体の調和を重視し、地域や学校、児童の実態に即した教育課程を編成する。
- ②障害のある児童に対して、適切な支援を行うことができる特別支援教育を推進する。
- ③学校の教育活動全体を通して、地域の「ひと・もの・こと」を生かした「原っぱ教育」の推進に努める。
- ④校内研修の充実や学校の教育力の向上に努める。

(2) 確かな学力をはぐくむ指導に努める。

- ①やまなしスタンダードに基づく授業づくりを徹底し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得、思考力・判断力・表現力の向上、主体的な学習態度の涵養を図る。
- ②適切で効果的な学習支援体制を整え、すべての児童がわかる・できる楽しさを味わうことができる授業の充実に努める。
- ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的・深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、自己肯定感や自己有用感を育み、生涯にわたり学び続ける態度を養う。
- ④ICT（1人1台端末等）を効果的に活用し、学習への興味関心を高め、わかりやすく魅力的な授業づくりを推進する。
- ⑤授業と関連した家庭学習を工夫し、習慣化を図る。

(3) 優しさや感性豊かな心の育成に努める。

- ①児童理解に努め、自己肯定感や自己有用感を高め、友だちとの絆や心の居場所

のある学校・学級づくりに努める。

- ②いじめを許さない，見逃さない生徒指導とSOSの出し方に関する教育を充実させる。
- ③不登校児童の解消に努めるとともに，新たな不登校児童を生まない組織的な支援に努める。
- ④道徳教育の充実を図り，善悪の判断，礼儀正しさ，人権感覚，勤労尊重精神等の涵養に努める。
- ⑤体験活動や読書活動，文化芸術鑑賞等を通して，豊かな感性を育てる。
- ⑥魅力ある児童会活動を展開し，協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ⑦「持続可能な開発目標」に取り組む態度を育てる。

(4) 命・体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。

- ①教育活動全体を通じて，命・体力・心身の健康・安全・食に関する適切な指導を実践する。
- ②危険を予測し，自主的に安全な行動がとれたり，危険を回避したりできる判断力・実践力を育てる。
- ③体力テストの結果に基づき，実態に応じた運動遊び等を取り入れた授業を工夫し，運動の日常化や体力の向上に努める。
- ④感染状況に応じて，新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。

(5) 安全・安心を基盤とし，家庭や地域に根ざした，信頼される学校づくりに努める。

- ①ホームページ，学校便り，その他各種通信を通して情報を積極的に発信し，保護者や地域住民に対して，学校教育活動への理解の醸成に努める。
- ②地域素材の教材化及び保護者や地域住民の人材活用に努める。
- ③地域と連携した見守り体制を整備するとともに，情報管理を徹底する。
- ④保護者や地域住民の願いを把握し，地域に根ざした学校運営の基盤作り（須玉小中学校運営協議会との連携）を推進する。